

## 新潟：県向け請願署名を提出

### 私学助成すすめる会ニュース

子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に！

2016年12月3日

新潟県私学の公費助成をすすめる会  
新潟市中央区弁天橋通 1-13-13  
Tel. 025-286-7600

# 学費と教育条件の公私間格差是正を 県議会に98,322筆を提出

## 杉本県総務管理部長に学費助成、経常費助成の拡充要望

併せて、「国向け署名の集約の継続と集約数の増加」

を訴える (↑重要)



私学署名を積み上げ、杉本県総務管理部長(写真左から2人目)に要望する「すすめる会」の父母・教職員。(11月29日 県庁内・県総務管理部長室)

「私学の公費助成をすすめる会」の活動に参加する父母・教職員は十一月二十九日、県庁を訪れ、県行政への要請と県議会へ私学助成署名の提出をおこなしました。行動には、各校から十七名の父母・教職員が参加しました。

県行政への要請では、今年度から着任した杉本孝信県総務管理部長に会い、約三十分は渡ってやりとりをおこないました。要請の中で「すすめる会」側は、私立高校生への県独自の学費軽減予算が三年連続で削減となっていることを指摘し、来年度予算で増額し、少なくとも文科省が低所得層と規定する年収五九〇万円未満世帯まで県独自の学費軽減助成を大幅に上乗せして学費無償に近づけるよう要望しました。また、私立高校への経常費助成では、公立高校経常費への公費が私立高校の約三倍も支出されていることを示し、当面「公立高校経費の二分の一助成」(私立高校生一人当たり約五十万円)の実施を求めました。

**国あては、提出締め切り来年二月  
署名をさらに上乗せし、一〇万筆を超えよう！**

保護者からは「上の子が公立で、下の子が私立に通っているが、あまりにも学費の違いに驚いた。無事卒業させられるのか不安だ。学費への助成をさらに充実させてほしい」との切実な訴えがありました。

要請に対し杉本総務管理部長は、「県財政が厳しい状況の中でも、私学助成の拡充をすすめており、全国的に見ても遜色ない支援をおこなっている。学費軽減については、低所得世帯への支援を優先し、国の補助とのパッケージで支援していきたい。意思ある高校生の芽を潰さないよう今後も私学の教育環境の整備に努めたい」と答えました。杉本部長は机の上に積み上がった署名の束を持ち上げ、「けっこう重いですね」と述べ、署名の重みをかみしめていました。

その後要請団は、池田紀夫県議会事務局長に会い、父母・生徒・教職員、県民の思いや願いが込められた約十萬筆の署名を手渡しました。

#### ●県議会あて署名の紹介議員は4党派10名

- (順不同・敬称略)  
高倉栄、藤田博史、小島晋、佐藤伸広、秋山三枝子(以上、民進にいがた)  
小山芳元、長部登、池田千賀子(以上、社会民主県民連合)  
渋谷明治(日本共産党)  
佐藤浩雄(無所属)



池田県議会事務局長(左)に署名を手渡す「すすめる会」の中村会長(11月29日 県議会事務局長室)

12/9 は中央要請行動、国会議員要請、財務省前行動に集まろう!!

翌日は「2016年私学シンポジウム」へ